

華東政治法律大学

(中華人民共和国)

(East China University of Political Science and Law)

交流協定締結年月日：1996年9月5日 主管学部：法学部



国際交流の特色(大学紹介)

1952年6月、復旦大学、南京大学等9大学の法律学、政治学、社会学の3学部の合併により設立。現在長寧区、松江区の2ヶ所にキャンパスが置かれており、学部は法律、経済、外国語など22の専攻を有するとともに、30を超える研究所を持っている。上海で法律系の大学といえばこの大学の名前が一番に挙げられるほど有名で、専門の学習にかなりの力を注いでいる。ゆえに上海で活躍している裁判官、弁護士など、法律業務に携わっている人たちの大部分がこの大学の卒業者である。

また九州大学や熊本大学など日本との交流が多いのは言うまでもなく、欧米諸国、アジア地域等、100を超える世界各地の大学や研究機関と幅広く提携している。留学制度においては短期留学制度もあり、留学生の受け入れにも積極的である。



学生からの声



「中国」この言葉を聞いて、皆さんはどのようなイメージを思い浮かべるでしょうか。もし中国で1年間留学したなら、このイメージは全く異なったものになるでしょう。留学するという事は、語学を学ぶだけでなく、現地の人々と交流し、その国の文化等を理解することも重要です。1年間どう過ごすかによって、将来の選択肢は無限大に広がります。私自身、2009年9月から北京の日本国大使館にて在外公館派遣員として勤務します。中国での「酸甜苦辣(中国語)」様々な経験が、この試験を受けるにあたって非常に役立ちました。

1年後、自分がどのくらい成長できるかはあなた次第です。

2005年度 法学部入学 川崎雅実

華東政治法律大学

(East China University of Political Science and Law)

ホームページ <http://www.ecupl.edu.cn/>

●学部学生

10,000人

●教職員

800人